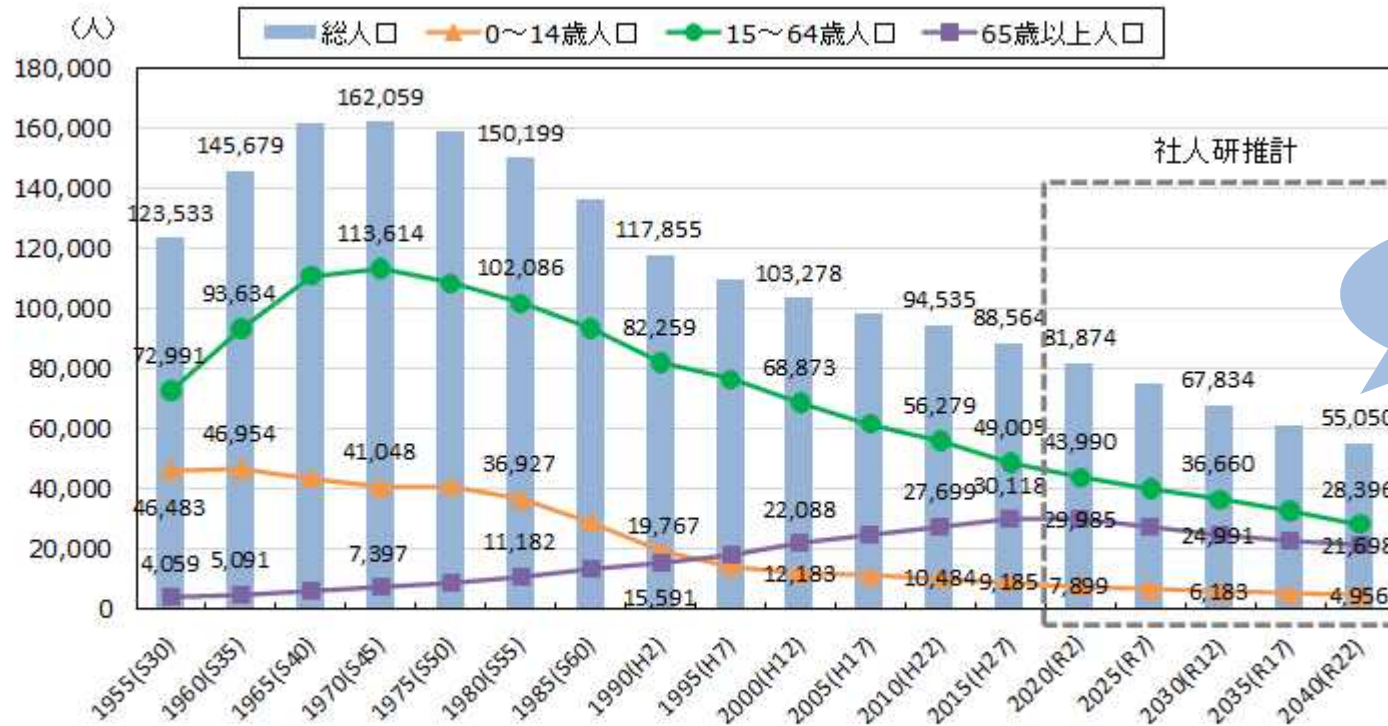


公共施設適正化の推進について No.2

なぜ公共施設のあり方を考えるのか？

令和3年10月

室蘭市総務部行政マネジメント推進課



2015年までは国勢調査 2020年以降は社人研推計値

1970年の約16万2千人をピークに減少しており、2015年は約8万9千人、ピーク時と比較して45%減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の2018年推計値では、2040年には約5万5千人まで減少すると推計されています。

年代別では、0~14歳の年少人口、15~64歳の生産年齢人口の減少傾向が続き、高齢化率は2015年：34%から、2040年：39.4%まで上昇すると推計されています。

(単位：百万円)

	R3当初 (2021)	R4推計 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	
歳入	市税・地方交付税等	24,490	24,748	24,449	24,172	24,054	23,806	23,407	23,336	23,204	23,007	22,624	22,513	22,331	22,215	22,082	21,532
	国・道支出金	11,576	11,031	10,918	10,483	10,325	10,348	10,340	10,080	9,951	9,964	9,949	9,960	9,955	9,966	9,951	9,964
	市債	4,369	1,807	1,570	1,287	1,169	1,412	1,418	1,155	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039
	繰入金	526	478	1,190	118	64	106	221	53	53	50	23	23	23	22	21	21
	その他	3,332	3,351	3,350	3,346	3,342	3,334	3,198	3,153	3,147	3,141	3,134	3,130	3,124	3,121	3,118	3,114
	合計	44,293	41,415	41,477	39,406	38,954	39,006	38,584	37,777	37,394	37,201	36,769	36,665	36,472	36,363	36,211	35,670
歳出	人件費	4,980	5,042	5,032	4,987	5,045	5,074	5,074	5,096	5,166	5,164	5,337	5,115	5,249	5,165	4,993	5,160
	扶助費	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586	11,586
	公債費	4,726	4,731	4,631	4,055	4,047	3,949	3,879	3,816	3,802	3,774	3,697	3,652	3,598	3,503	3,437	3,358
	広域連合負担金	2,944	3,448	3,826	3,124	2,739	2,838	3,074	3,123	3,040	3,048	3,016	2,997	2,911	2,780	2,782	2,816
	建設事業費等	7,514	4,369	4,160	3,262	3,194	3,284	3,296	2,769	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537
	繰出金	5,080	5,090	5,067	5,184	5,161	5,159	4,735	4,732	4,709	4,722	4,704	4,708	4,672	4,677	4,647	4,645
	その他	7,463	7,257	7,226	7,208	7,182	7,170	7,078	7,061	7,043	7,034	7,069	7,051	7,043	7,034	7,070	7,052
	合計	44,293	41,523	41,528	39,406	38,954	39,060	38,722	38,183	37,883	37,865	37,946	37,646	37,596	37,282	37,052	37,154
差引・単年度収支	0	▲ 108	▲ 51	0	0	▲ 54	▲ 138	▲ 406	▲ 489	▲ 664	▲ 1,177	▲ 981	▲ 1,124	▲ 919	▲ 841	▲ 1,484	
基金残高(各年度末)	6,717	6,299	5,834	4,729	4,717	4,755	4,700	4,437	4,069	3,617	2,991	1,852	908	0			
累積収支額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 179	▲ 1,098	▲ 1,939	▲ 3,423	

今後5年間は、多額の収支不足は発生しないと見込んでいますが、

長期的には…

人口減少等の影響により、市税や交付税収入の減少が見込まれます。

一方で人件費や扶助費などの大幅な抑制は見込めないことから、毎年度の収支不足は増加します。

収支不足を基金（公共施設等整備基金及び減債基金）で補填していった場合、

令和15年度で両基金が枯渇するものと推計しています。

15年間で約30億円減少、
毎年度、約2億円の減少…



今後20年以内・2040年(R22)までに目標使用年数を迎え、建て替えの検討が必要な主な公共施設は、
①本庁舎 ②学校給食センター ③市立室蘭看護専門学院 ④文化センター（市民美術館）
⑤武揚体育館 ⑥中島スポーツセンター ⑦だんパラスキー場 ⑧水族館 の8施設です。



⑧水族館（築67年）



②給食センター
（築45年）



④文化センター（築56年）



⑤武揚体育館
（築60年）



⑦だんパラスキー場（リフト33年経過）



③看護専門学院
（築51年）



⑥中島スポーツセンター
（築48年）



①市役所本庁舎（築68年）



施設名	機能	延床面積	建築年	築年数 (R2年度末)	利用者数 (H29-R1平均)
①本庁舎	庁舎	10,165㎡	1952年 (S27)	68年	—
②学校給食センター	給食提供	2,085㎡	1975年 (S50)	45年	—
③市立室蘭看護専門学院	看護師養成	6,510㎡	1969年 (S44)	51年	163人 ※R1当初学生数
④文化センター -1 大ホール -2 管理棟 [文化C庁舎]	ホール 貸館 [庁舎]	8,259㎡ [529㎡]	1964年(S39) 1967年(S42) ※大ホール+管理棟+地下駐車場	56年 53年	94,123人
④-3 市民美術館	美術展示、保管	666㎡	1967年 (S42)	53年	11,425人
⑤武揚体育館	体育館	1,000㎡	1960年 (S35)	60年	20,706人
⑥中島スポーツセンター	屋内スケートリンク	4,619㎡	1972年 (S47)	48年	25,300人
⑦だんパラスキー場	スキー場	531㎡ ※ロッジ等	1987年 (S62)	33年	12,015人 ※入込数
⑧水族館	水族館・遊園地	1,239㎡	1953年 (S28)	67年	98,547人

8施設を全て建て替えた場合の（駐車場整備や古い建物の解体費など除く）建設費は、現時点で**約180億円**と見込まれます…

これからは、やめるものはやめ、残すものにはしっかりと投資し、安全・安心で利用しやすい施設を次の世代に引き継いでいくことが重要です

将来を見据えた公共施設のあり方、特に8施設について「どのような基準？優先順位？」などで考えるか、様々な観点で検討していきます。

使用料を見直し
税負担を縮減

運営を見直し
経費を縮減

民間の施設を
使用

今ある他の施設
に集約、複合化

近くのまちと
施設を共有

令和4年度（2022年度）を目途に、方向性をまとめていきます。

基準の例

<p>優先機能</p> <p>義務付け、生活上必要不可欠 など優先機能か？</p>	<p>集約の可能性</p> <p>市内で同じ機能が 提供されるか？</p>	<p>広域連携の可能性</p> <p>近隣（西胆振地域）で 同じ機能が提供されるか？</p>	<p>財政状況</p> <p>将来的な財政負担の抑制</p>
<p>YES</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本庁舎 ②学校給食センター <p>NO</p> <ul style="list-style-type: none"> ③看護専門学院 ④-1文化センター大ホール ④-2文化センター管理棟 ④-3市民美術館 ⑤武揚体育館 ⑥中島スポーツセンター ⑦だんパラスキー場 ⑧水族館 	<p>YES</p> <ul style="list-style-type: none"> ③看護専門学院 ④-1文化センター大ホール ④-2文化センター管理棟 ⑤武揚体育館 <p>NO</p> <ul style="list-style-type: none"> ④-3市民美術館 ⑥中島スポーツセンター ⑦だんパラスキー場 ⑧水族館 	<p>YES</p> <ul style="list-style-type: none"> ④-1文化センター大ホール ④-2文化センター管理棟 ⑤武揚体育館 ⑦だんパラスキー場 ⑧水族館 <p>NO</p> <ul style="list-style-type: none"> ③看護専門学院 ④-3市民美術館 ⑥中島スポーツセンター 	<p>将来を見据え、運営管理費や建替に伴う公債費など財政的な縮減の目安</p>

基準：優先機能

地方公共団体の事務として義務付け・生活上必要不可欠な機能⇒今後も維持

優先度	方針	機能・施設の種類
優先機能	地方公共団体の事務として法令で義務付けられているもの、生活していくうえで必要不可欠な機能は、 今後も市が施設を保有し維持します	<ul style="list-style-type: none"> ◎義務教育機能：小中学校、学校給食センター ◎防災機能：消防署、消防団、防災センター ◎生活衛生機能：火葬場、ごみ処理施設、し尿前処理場 ◎行政機能：本庁舎など
その他機能	市民ニーズや利用状況などを踏まえ、 機能の存廃を検討します	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅機能：市営住宅 ○保健福祉機能：子ども発達支援センター、障害者福祉総合センターなど ○図書館、博物館等機能：図書館、科学館、市民美術館、民俗資料館など ○ホール機能：文化センター、市民会館 ○集会（貸館）機能：胆振地方男女平等参画センター、中小企業センター、生涯学習センター、サンライフなど ○スポーツ機能：総合体育館、入江運動公園陸上競技場・プール、中島公園野球場、中島スポーツセンター、だんパラスキー場など ○観光・レク機能：白鳥大橋記念館、水族館、旧室蘭駅舎など ○その他：室蘭港フェリーターミナルなど

基準の例：集約の可能性

市内に同じ機能を有する施設がない場合⇒維持する優先度は高い

施設名	機能	市内他施設の状況
①本庁舎	庁舎	港湾部庁舎、広域センタービル庁舎（※民間施設）、文化センター庁舎、保健センター、蘭東支所「えきがるセンター」（※民間施設）、水道部庁舎
②学校給食センター	給食提供	－
③市立室蘭看護専門学院	看護師養成 [定員80名×3学年]	日鋼記念看護学校 [定員70人×3学年]（※民間）
④-1 文化センター 大ホール	ホール [1,307席]	市民会館 [511席]
④-2 文化センター 管理棟	貸館 [大1、中1、小5、和2、展1]	市民会館、胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」、中小企業センター、生涯学習センター「きらん」、サンライフ室蘭、地域交流センター、ほか
④-3 市民美術館	美術展示、保管	－
⑤武揚体育館	体育館	総合体育館（R4開設）、サンライフ室蘭体育館、室蘭岳山麓総合公園「サンパワー380」体育館、げんき館ペトル体育館（※広域連合）、学校開放（小8、中7）、保健センター体育館、看護学院体育館
⑥中島スポーツセンター	屋内スケートリンク	－
⑦だんパラスキー場	スキー場	－
⑧水族館	水族館・遊園地	－

基準の例：広域連携の可能性

近隣市（西胆振地域）にも同じ機能を有する施設がない場合⇒維持する優先度は高い

施設名	機能	登別市の状況	伊達市の状況
①本庁舎	庁舎		
②学校給食センター	給食提供	登別市学校給食センター	だて歴史の杜食育センター
③市立室蘭看護専門学院	看護師養成 [定員 80名×3学年]	－	伊達赤十字看護専門学校 (R6.3末閉校予定)
④-1 文化センター 大ホール	ホール [1,307席]	登別市市民会館 [709席]	だて歴史の杜カチャーセンター[1,044席] 伊達信用金庫コスモホール [約200席]
④-2 文化センター 管理棟	貸館 [大1、中1、小 5、和2、展1]	登別市市民会館、鷺別・登別・登別温 泉公民館、鉄南ふれあいセンター、 婦人センター、若草つどいセンター、 市民活動センター、ほか	だて歴史の杜カチャーセンター、市民活動セ ンター、東・有珠・黄金・長和地区コ ミュニティセンター、大滝基幹集落セ ンター、ほか
④-3 市民美術館	美術展示、保管	－	アートビレッジ文化館
⑤武揚体育館	体育館	登別市総合体育館、登別市青少年 会館、富岸青少年会館 (R4.3末廃 止予定)、学校開放 (小8、中5)	伊達市総合体育館、 学校開放 (小8、中3、義務1)
⑥中島スポーツセンター	屋内スケート リンク	－	－
⑦だんパラスキー場	スキー場	サンライバスキー場	－
⑧水族館	水族館・遊園地	登別マリンパークニクス (※民間)	－

基準の例：財政負担の抑制

財政見通しを踏まえ、運営管理費や建替に伴う公債費等を将来的にどの程度縮減する必要があるか検討

施設名	運営管理費①	使用料等②	税負担額①－②	建替費
①本庁舎	7,533万円		7,533万円	55億円
②学校給食センター	4億8,573万円	2億7,987万円	2億586万円	21億円
③市立室蘭看護専門学院	1億6,987万円	8,858万円	8,129万円	12億円
④-1,2 文化センター 大ホール・管理棟	8,123万円	1,601万円	6,522万円	51億円
④-3 市民美術館	650万円	14万円	636万円	(文化Cに含む)
⑤武揚体育館	446万円	88万円	358万円	5億円
⑥中島スポーツセンター	3,341万円	805万円	2,536万円	29億円
⑦だんパラスキー場	1,788万円	543万円	1,245万円	9千万円
⑧水族館	9,919万円	3,271万円	6,648万円	7億円
計	9億7,360万円	4億3,167万円	5億4,193万円	180億9千万円

学校や消防など優先機能、市営住宅を除いた公共施設全体では、

	19億7,336万円	6億6,694万円	13億642万円
--	-------------------	------------------	-----------------

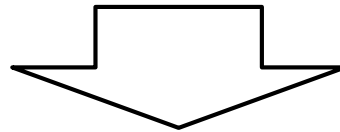
※運営管理費（R3年度予算ベース）

- ・工事請負費を除く。指定管理者施設は、指定管理委託料＋利用料金収入とする。
- ・一部コロナの影響等を考慮しR1またはR2決算額を用いる。

※建替費は他市事例などを参考に、㎡単価×現面積を基本に算出した超概算額

【令和3年度】

- ・ 11/26予定 第3回行政改革推進委員会
 - ・ 行政改革プラン2022（素案）について
 - ・ 公共施設の適正化について
- ・ 12月 第4回室蘭市議会定例会・総務常任委員会
 - ・ 行政改革プラン2022（素案）報告
- ・ 1月 パブリックコメント
- ・ 3月 行政改革プラン2022 策定



継続して公共施設適正化の検討

【令和4年度】 公共施設適正化の方向性とりまとめ